企画展 牧野一泉 日本画展 ― 人型の向こう側

牧野一泉《Study for Labyrinth》2000年制作、佐久市立近代美術館蔵

地域ゆかりの美術家等を紹介するシリーズの展覧会で、牧野一泉を紹介する。
佐久で生まれ、南画家・牧野寒泉（まきのかんせん・1893-1973）を祖父にもつ牧野は、高校時代には「画家になることしか考えなかった」という。1970年4月に東京藝術大学絵画科日本画専攻に進学、教授だった師 日本画家・稗田一穂（ひえだかずほ・1920-2021）に出会い、稗田が会員として所属していた創画会を作品発表の場とした。日本画表現の自由な挑戦を繰り広げていた創画会で、牧野は従来の技法に捕らわれずAssemblage*など現代美術の技法を取り入れながら、画面上の新しい表現を模索している。牧野自身が選んだ作品40点は、その軌跡であり、それぞれが「現実の形象から離れた自立した造形」である。

（註）*「寄せ集め」「組み立て」を意味する仏語。現代美術では日用品や廃棄物など立体物を寄せ集めて表現に使用する技法をいう。

牧野一泉《盗賊の恋人》2002年制作、創画会賞

牧野一泉《雨あがり》2003年制作、春季展賞

略歴

牧野一泉（まきのかずみ）日本画家・創画会会員
1951年 南佐久郡大沢村（現佐久市大沢）生まれ、1976年 東京藝術大学大学院修了、2003年 文化庁芸術家在外研修員イタリア・アレッツォ留学（～'04）

■展覧会
1976年 第2回東京春季創画展（以後毎年出品）、1979年 第6回創画展（以後毎年出品）、1995年 星粒展：日本橋髙島屋（～'04毎年出品）、2002年 文化庁買上優秀美術作品披露展：日本芸術院、2002年 第36回現代美術選抜展：文化庁

■個展
1996年 東京セントラル美術館アネックス
2000年 日本橋髙島屋6階美術画廊

■受賞
1988年 第14回東京春季創画展春季展賞（'96'98'01'02'03'04受賞）、1989年 日本画21世紀大賞展グランプリ受賞、2001年 第19回伊豆美術祭絵画公募展優秀賞（'02記念展賞）、2001年 第28回創画展創画会賞（'02'06）、2002年 第9回川端龍子賞展佳作賞（'04）

■パブリックコレクション
文化庁・佐久市立近代美術館 ほか

牧野一泉《遠砲の跡》2021年制作

会期中のイベント

●開会記念イベント「牧野一泉ギャラリートーク」
［日時］9月14日（土）10：00～11：00
参加無料（観覧券必要）

●牧野先生のワークショップ「絵を作ろう」
［日時］10月19日（土）14：00～16：00
［講師］牧野香里（北海道教育大学准教授・日本美術院院友）
［対象］どなたでも（先着10名）
［参加費］500円（材料費）
要申込

●ワークショップ
「体験！Assemblage ー日本画の材料を添えて」
［日時］11月2日（土）13：30～16：00
［講師］須藤友丹（日本画家・創画会会友）
［対象］どなたでも（先着10名）
［参加費］500円（材料費）
要申込

●美術館スタッフによる展覧会ガイド
［日時］9月29日（日）、10月5日（土）、27日（日）
各日14：00～（30分程度）
参加無料（観覧券必要）

○状況により内容を変更する場合があります。
最新の情報は佐久市立近代美術館ホームページをご確認ください。
○ワークショップは申込が必要です。10月1日（火）9：30から佐久市LINEおよび電話（0267-67-1055）で申込を受け付けます（先着順）。詳しくは美術館ホームページをご覧ください。

上野泰郎《うつりゆくとき》1979年制作

同時開催【コレクション展】

平山郁夫と佐久の風景
平山郁夫が、佐久香坂の闍伽流山を描いた素描《闍伽流山を望む》ほか13点を、《仏教伝来》と合わせて展示

創画の美術・佐久の美術
牧野一泉が所属する創画会で活躍した作家と、佐久ゆかりの作家の作品を当美術館のコレクションから厳選して展示

佐久市立近代美術館
油井一二記念館
SAKU Municipal Museum of Modern Art since 1983

〒385-0011 長野県佐久市猿久保35-5（駒場公園内）
https://www.city.saku.nagano.jp/museum/
TEL：0267-67-1055 ／ FAX：0267-67-1068

公共交通機関
北陸新幹線「佐久平駅」から
●タクシー約10分
●JR小海線へ乗り継ぎ「北中込駅」下車 徒歩15分

自動車
●上信越自動車道「佐久IC」または「佐久平スマートIC（ETC専用）」から約15分
●中部横断自動車道「佐久中佐都IC」から約10分